

令和5年7月27日

技術職員の募集について

東京大学大学院農学生命科学研究科では、下記の要領で技術職員の募集を行います。

記

1. 募集職種：一般技術職員 1名
2. 勤務場所：東京大学大学院農学生命科学研究科附属牧場（茨城県笠間市安居3145）
3. 業務内容：
 - ・教育・研究用の大型資源動物（馬、牛、豚、山羊など）の育種・繁殖、飼養・衛生管理
 - ・学生の実習および教員・学生の研究に伴う実験補助
 - ・場内施設、各畜舎の維持・衛生管理、農耕作業車の運転および農機具類の維持管理、危険物の取扱業務
4. 採用予定時期：令和5年11月1日（水）
5. 任期：なし
6. 試用期間：採用日から6か月間
7. 受験資格：

- 1) 大型産業動物（馬、牛、豚、山羊など）を取り扱うことができる。
 - 2) 大型産業動物を対象とした畜産学、獣医学領域の教育・研究に意欲をもって取り組むことができる。
 - 3) 大型産業動物の取り扱いを含む畜産学、獣医学などの教育・研究に関係する実務経験のある者が望ましい。
 - 4) 普通自動車運転免許の資格を有すること。大型特殊、けん引車両（何れも農耕車）、小型特殊の運転免許の資格を有することが望ましい。
8. 応募期限：令和5年8月31日（木）必着
9. 応募書類：
- 1) 履歴書（本学統一様式による）※次の URL から本学様式「東京大学統一履歴書フォーマット」をダウンロードし、「参考例 6（一般職員）」を参照して作成し、写真貼付のうえ下記「13.」に記載の送付先に郵送してください。
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

※必ず連絡が取れるメールアドレスを記載すること。

- 2) 資格の取得証明書の写
- 3) （実務経験のある場合）学校卒業以降の実務経験の具体的な内容
- 4) 附属牧場での教育及び研究の支援業務に関する抱負（2000 字程度）

※応募書類は返却しません。応募書類は、本応募の用途に限り使用し、個人情報を正当な理由なく第三者に開示、譲渡、貸与することはありません。

10. 試験日程等：

書類審査のうえ、合格者には追って面接試験（実技試験を含む）について通知します。

- 1) 第一次選考：書類選考 9月上旬
- 2) 第二次選考：実技試験、面接試験 9月中～下旬予定（附属牧場にて実施予定）
- 3) 最終内定：9月下旬予定

11. 勤務条件 (https://www.u-tokyo.ac.jp/recruit/info/index_j.html) :

- 1) 勤務時間：午前8時00分から午後4時45分
休憩時間：正午から午後1時
※業務上の必要がある場合には、所定の勤務時間を超えた時間又は次項に記載の休日に勤務を命ずることがあります。
- 2) 休日：土曜日、日曜日（完全週休2日制）、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
ただし、1か月単位の変形労働時間制により交代で休日に勤務を割り振り、加えて、年に2日程度の宿直業務を割り振ることがあります。
- 3) 休暇等
 - ①年次有給休暇
自己都合で休むとき。
採用月日によって2日から20日の間で付与されます。残日数は20日を限度として翌年に繰
- 6) 初任給予定額(教育研究連携手当含む)
4年制大卒 / 月給 221,314円
修士修了 / 月給 237,207円
博士修了 / 月給 256,088円
※本人の職歴等に応じてこれより高く決定される場合もあります。
※2023年2月1日現在の給与規則に基づき、予定額を掲載しています。
- 7) 諸手当
通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当

(支給要件を満たした場合、本学規定により支給)

8) 賞与

年2回(夏季・冬季)

9) 社会保険等

文部科学省共済組合(健康保険、厚生年金保険)、雇用保険、労災保険

12. 問合せ先:

- ・業務内容・受験資格に関すること

東京大学大学院農学生命科学研究科附属牧場

E-mail: bokujo-jimu.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

- ・勤務条件等に関すること

東京大学農学部・農学生命科学研究科事務部総務課人事チーム

E-mail: jinji.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

13. 応募書類送付先:

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学農学部・農学生命科学研究科事務部総務課人事チーム

(封筒に「附属牧場 一般技術職員 応募書類」と朱筆し、簡易書留で郵送すること。)

14. その他:

- 1) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙(屋外に喫煙場所あり)
- 2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
- 3) 本研究科・学部・附属牧場の概要等は下記のホームページを参照してください。

研究科・学部: <https://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html>

附属牧場: <http://www.bokujo.a.u-tokyo.ac.jp/>

15. 募集者名称：国立大学法人東京大学

以上